

情報公開用文書（附属市民総合医療センターで実施する医学系研究）

（他の研究機関への既存試料・情報の提供用）

西暦 2020 年 12 月 28 日作成 第 1.0 版

研究課題名	気腹装置の加温効果を妨げる因子の探索的横断研究
研究の対象	2018 年 4 月～2020 年 3 月の間に、横浜市立大学附属市民総合医療センターにて、腹腔鏡下大腸切除術を施行した患者さん。
研究目的 ・方法	下記の情報より、術中体温維持群と術中体温低下群を比較、また統計解析を行い、加温された炭酸ガスを使用する腹腔鏡手術において、体温の低下に影響を与える因子を探索します。
研究期間	西暦 2021 年 1 月 6 日（実施許可日） ～ 西暦 2022 年 3 月 31 日
研究に用いる 試料・情報の 種類	手術記録および電子カルテより、患者基本情報（年齢、性別、診断名、身長、体重、既往歴、皮膚疾患の有無）・手術情報・麻酔情報・バイタルサイン（体温、呼気終末二酸化炭素濃度）の情報を収集します。
外部への 試料・情報の 提供	横浜市立大学看護学科へデータを提供する際は、個人が特定されない番号化されたデータにパスワードをかけ、研究者が直接持ち運びます。 データは横浜市立大学大学院医学研究科看護学専攻主麻酔期看護学教室で、本研究の終了について報告された日から 5 年を経過した日、又は本研究の最終の公表について報告された日から 3 年を経過した日のいずれか遅い日まで適切に保管されます。その後、復元できない方法で廃棄されます。
研究組織	研究機関：横浜市立大学 大学院医学研究科 看護学専攻周麻酔期看護学分野 既存情報の提供のみを行う協力機関：横浜市立大学附属市民総合医療センター
<p>本研究に関するご質問・ご相談等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。</p> <p>ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますので下記連絡先まで電話または FAX でお申出下さい。</p> <p>また、当該研究に情報を用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしません。その場合、2020 年 1 月～2 月末日までに横浜市立大学附属市民総合医療センターにお申し出ください。撤回されても患者さんに不利益が生じることはございません。その後は個人がわからない状態で情報を抽出しますため、撤回が出来かねますことをご了承いただけますようよろしくお願いいたします。</p>	
<p>研究への利用を拒否する場合の連絡先： 〒232-0024 横浜市南区浦舟町 4-57 横浜市立大学附属市民総合医療センター 看護部（担当者）宮森真璃絵 電話番号：045-261-5656（代表）</p> <p>研究に関する問合せ先： 〒236-0004 横浜市金沢区福浦 3-9 横浜市立大学 大学院医学研究科 看護学専攻周麻酔期看護学分野教授 （研究責任者）赤瀬智子 電話番号：045-787-2743 FAX：045-787-2743</p>	